

■血液内科研修プログラム

1) 一般目標

血液疾患症例の診療を通して、内科学一般の基本的な臨床能力を身に付ける。

2) 行動目標

1. 頭頸部・胸部・腹部・四肢の診察ができる。
2. リンパ節腫大・肝脾腫について評価できる。
3. 出血傾向の有無について評価できる。
4. 膠原病リウマチ疾患の診断基準を理解し特徴的な皮膚・関節所見を評価する。
5. 末梢血液学的検査、血液生化学検査、出血・凝固線溶検査の結果を解釈できる。
6. 骨髄穿刺の適応を判断し、施行し、評価することができる。
7. 自己抗体検査を適切にオーダーし、評価することができる。
8. 貧血を鑑別し、治療方針を立てることができる。
9. 化学療法の薬物動態と使用方法を理解できる。
10. 白血球減少・免疫抑制状態の管理ができる。
11. NSAIDs、副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤の適応の判断と副作用予防のための支持療法を行うことができる。
12. 治療的・予防的抗凝固療法を行うことができる。
13. 瀉血・輸血の適応を判断し行うことができる。

3) 研修方法

1. 病棟の診療はチーム(A、B、C)に所属し、入院患者を主治医として3~5名担当し、上級医とともに診療にあたる。
2. 上級医の指導のもとに外来新患の診療に参加する。
3. 毎週のカンファレンスで受け持ち症例を提示する。
4. 上級医とともに担当患者と家族に診断及び治療方針について説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し、科学的に検討してカンファレンスで紹介し討論し、内科学会地方会で発表する。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

血液内科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	採血 朝回診	朝回診	朝回診	採血 朝回診	朝回診
	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務 (骨髄穿刺など)	病棟業務 (骨髄穿刺など)	病棟業務 (骨髄穿刺など)	病棟業務 (骨髄穿刺など)	病棟業務 (骨髄穿刺など)
			月に一度教授回診		